

林業の新しいスタンダード

佐賀県

# TBEW

林業就業者の  
リアルな体験や  
ここだけの情報が満載

[TO BE FOREST WORKER]

知る・触れる・学ぶの3ステップで就業に近づく

## さが林業アカデミー

<インタビュー>

先輩フォレストワーカーが教える  
さが暮らしと森しごと





## ほがらかに働く、未来の森を育てる。

森で働く人たちは、みんな、ほがらか。  
ときには自然の厳しさに触れることもあるけれど、  
季節の移ろいを感じながら信頼できる仲間たちとのびのびと働く時間は、  
とても豊かなのかもしれません。

水をたくわえ、きれいにする。木材を生産する。  
災害や地球温暖化を防ぐ。生き物のすみかとなる…  
たくさんの役割を持っている森を、数十年、ときには百年ほどの  
長い時間をかけて守り育てることは、未来の環境を守ることに繋がります。

林業は、私たちの暮らしに深く関わり、未来のために森と向き合い続ける仕事です。  
このパンフレットでは林業の基本的な情報、  
働いている人の就業のきっかけや率直な声をお届けします。



# 林業の仕事と森のサイクル

森を育て、守るためにさまざまな作業を行っています。近年は、機械やデジタル技術の活用も進んできました。

## 造材（玉切り）

収穫した木を決まった長さに切り、丸太にする



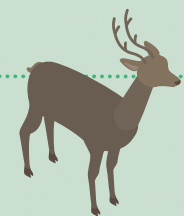
## 集材・運材

丸太を運び出し、市場などに運ぶ



## 重機を用いた作業道づくり

作業環境を整えるための事前準備



植え付けから40～50年後、成長した木を木材として収穫します。



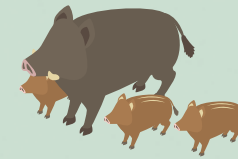
成長前に形の良くない木を間引いて、木の成長を導きます。



節のない良質材の生産、害虫対策として枝を付け根から伐り落とします。



伐採後の枝や雑草を片付け、苗木を植える場所を整えます。



## 苗木生産

最近ではサガンスギのコンテナ苗も生産されている



苗木を植えます。植えた木が収穫されるのは約50年後です。

苗木の成長をさまたげる雑草や雑木を刈り取ります。



木の周りに自然に生えてきた木や育つ見込みのない木を伐ります。



## 他にもこんなお仕事があります！

### 森林施業プランナー

森林整備のための山の測量や境界の確認  
測量結果をGIS（地理情報システム）に反映  
施業プラン・見積書の作成・提案  
補助金申請



さが林業アカデミー公式HPでも紹介しています  
<https://tobe-forestworker-saga.jp>





1 知る

2 触れる

3 学ぶ

約半年で即戦力になれる  
知る・触れる・学ぶの3ステップ

# さが林業アカデミー 開講

林業をやってみたくはいきなり就職するのは不安  
自分に向いているのかを確かめてからチャレンジしたい  
長く続けていける仕事なのかを知りたい  
そんな方におすすめなのがさが林業アカデミー！  
林業や佐賀県での生活について先輩就業者からリアルな声を聞きつつ  
実用性の高い資格も多数取得することができます

STEP 1 知る

まずは話だけ聞きたい！  
という方の参加も大歓迎

## 林業就業セミナー

- 佐賀県の紹介
- 県内の森林・林業の紹介
- 現役就業者のトークショー
- 移住支援のご紹介

1DAY

@ 東京・佐賀 (オンライン同時開催)

定員: 15名 (令和5年度)

参加無料



参加者の声

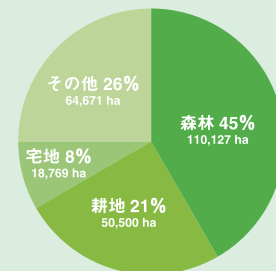
林業就業者の方から、仕事の魅力、大変さや給料について詳しく聞くことができたのが良かったです。現場で実際に体験することが大切だと感じたので、体験会に行ってみようと思いました。

▲なごやかな雰囲気のトーク。給料や働き方についての質問もOKです！

## データで見る佐賀の林業

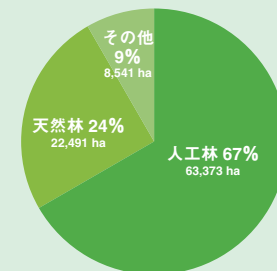
出典:令和4年度佐賀県森林・林業統計要覧、佐賀県林業課

### 土地利用区分と森林面積



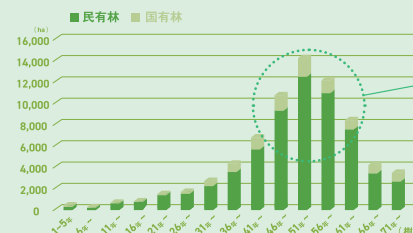
県土の45%が森林

### 民有林の林種別面積



森林の67%が人工林  
(人の手入れが必要な森林)

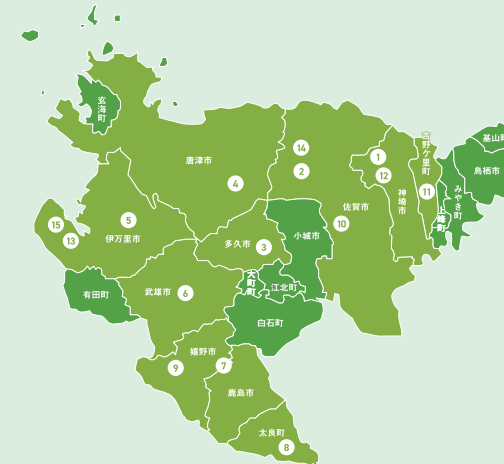
### 齢級別森林資源の構成



約7割が  
伐採時期を迎えた  
人工林

佐賀県の森林資源は成熟期を迎えています。森林のサイクルを健やかに保つためには木を伐ることが必要。その担い手である林業就業者は重要な存在なのです。

## 県内事業所一覧 MAP



- 佐賀東部森林組合
- 富士大和森林組合
- 佐賀中部森林組合
- まつら森林組合
- 伊万里西松浦森林組合
- 武雄杵島森林組合
- 鹿島嬉野森林組合
- 太良町森林組合
- 株式会社西部林業
- 東部林業株式会社
- 株式会社多良木材
- 株式会社佐藤木材
- 肥前林産事業協同組合
- ウッド・エコ産業株式会社
- 株式会社伊万里木材市場 (佐賀県の認定事業主のみ掲載)



# STEP 2 触れる

## 林業体験会を開催

- 林業現場の見学
- 林業機械の操作体験
- 事業者・就業者との現場トーク

**1DAY**  
@ 佐賀県内  
定員: **15名** (令和5年度)  
**参加無料**



▲林業機械の操作を体験。講師がマンツーマンで教えるので安心です



**参加者の声**

実際の林業の現場を見学して、就業されている方のリアルなお話を聞くことができました。重機など林業機械の運転体験ができたのが良かったです。仕事として林業を考えるきっかけになりました。



▲実際に山に入って働く現場を見学



▲仕事の内容ややりがいについてトーク！

# STEP 3 学ぶ

## 林業講習会を開催

- 林業に関する基礎学習
- チェーンソーなどの資格取得
- 実践研修
- 県内事業者とのマッチング相談
- 県内事業者へのインターンシップ

**2ヶ月**  
@ 林業試験場(佐賀県内)  
定員: **5名** (令和5年度)  
**参加無料**  
※資格取得のためのテキスト代、食費などは各自で負担



▲講師立ち会いのもと実践的な研修が受けられます



▲就職に有利な資格を取得できます



▲座学もあります



**参加者の声**

資格取得と現場での実践によって、ネットなどではわからない仕事の全体像を知ることができました。事業者研修のアポ取りは佐賀県がやってくれます。各事業者の労働環境や働く方の雰囲気はわかって良かったです。

## よくある Q&A

- Q1. 林業従事者になるのにアカデミーの受講は必須ですか？**  
必須ではありません。ただ、実際に就業している方との交流や現場の見学、機械の操作体験など林業への就業を検討できる貴重な機会ですので、受講をおすすめしています。STEP2の林業体験会で現場を見ることで仕事のイメージを持つことができたという方がとても多いです。就業を検討されている方はもちろん、なんとなく興味を持っている方もSTEP2までの受講をおすすめします。
- Q2. デスクワークから転職することはできますか？**  
異業種から転職される方もたくさんいます。事務職から転職された方も含め、みなさん「体力は働くうちにつく」とおっしゃっています。
- Q3. 給与面や福利厚生などが不安です。**  
以前と比べて、ずいぶんと改善されました。特別休暇などを取り入れている事業者もあります。STEP1の林業就業セミナーでは、実際に事業者で働く林業従業者たちの本音トークを聞くことができます。

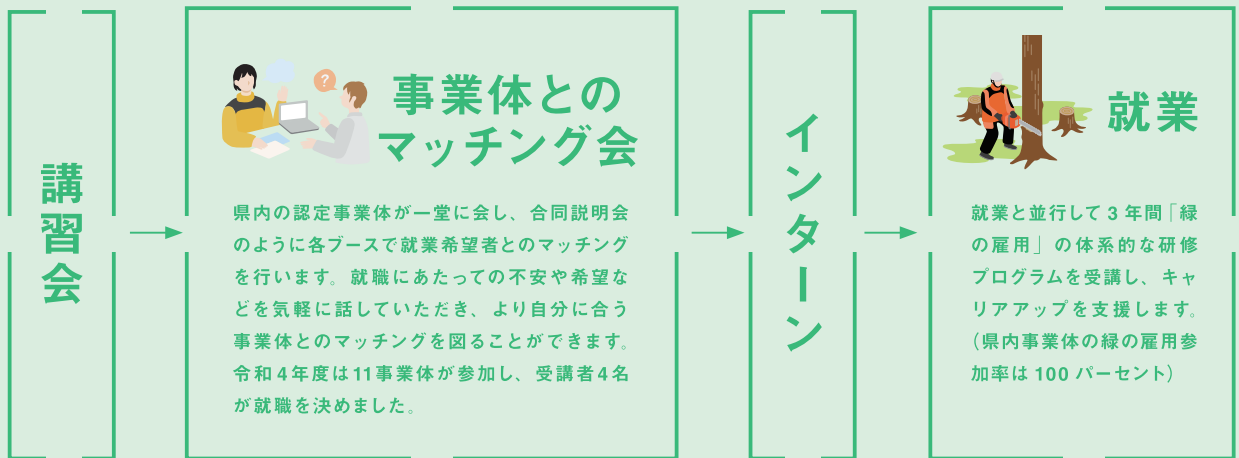
**Q4. 移住先はどうやって探せばいいですか？**  
移住支援サービス「サガスマイル」(無料)のご利用をおすすめします。STEP3の林業講習会の期間にお試し移住をされる方もいます。→くわしくはP.15

**Q5. 一日のタイムスケジュールを教えてください。**  
【30代男性・12年目・妻子ありの場合】

7時	事務所集合
	現場へ
17時	終業
18時	帰宅
	子どもにご飯を食べさせながら夕食
	子どもと遊ぶ・子どもとお風呂に入る
22時	寝かしつけ、就寝

アフター5が充実！残業が一切ないことが大きな魅力です。終業後は、家族と過ごす時間を大切にしたり、趣味に没頭したりと充実した時間を楽しんでいますよ。

## 講習会～就業までの流れ





# さが暮らし、森しごと。 林業から始まる新しい生活スタンダード

いま、佐賀の森林で働く林業就業者たちは、どのようなきっかけでこの世界に足を踏み入れたのか。はじまりも思いも人それぞれ…森で働きたいと思い、夢を叶えた人々のリアルな声をお届けします。

## CASE 1

### 40歳未経験から林業の道へ 兼業との両立も叶えた転機

20mほどのまっすぐな木が立ち並ぶ急斜面を難なく上り下りしながら、チェーンソーを使って次々と木を伐る木塚さん。伐倒作業は木が倒れる方向やスピードを調整することが大事。一本一本違う木の様子を見極めながら作業を進めます。

「一本伐るたびにもうちょっと上手にできたらと思います。ほんとは、伐った木がピシャッと並ぶようにしたいんです。機械で木を運び出すときに作業がしやすいから」

福岡で営業の仕事をしていた木塚さんが林業を始めたのは、40歳のころ。佐賀の実家に帰ることになり、営業職を希望して転職活動を始めたものの思うように仕事が見つからない中、ハローワークで偶然目にしたのがウッド・エコ産業の求人でした。それまで無縁だった林業のイメージは全くなかったけれど、「なんとかやれるんじゃないか」と直感的に思ったそう。

「親には、危ないんじゃないか、お前には無理だと反対されました。でも、やっぱり自分のことは自分で決めないと。40歳から始めることに抵抗はなかったですね」でも実際に転職してみると、そう簡単なものではありませんでした。体力には自信があったものの、一日働くと体はへとへとに。雨が降るなかの作業や、足の置き場を間違えて斜面で転ぶなど、想像以上の大変さに当初は辞めることも考えたといえます。

「なんでこんなことをしているんだろうと嫌になるときもありました。でも、初めて働いた会社ではやるべきことを頑張れないまま辞めてしまったんですね。それがずっと心残りで、ここで辞めたらまた同じだなと。だから、頑張ってみようと思えました。最初はとにかく“なにくそ根性”だけでやっていましたよ」

佐賀にUターンして10年。家族の夢だったマイホームを建て、二人の子どもたちは自然の中でのびのびと育っています。また、実家の農業と兼業しているため農繁期に20日ほど休みを取る働き方も会社は応援しています。

「林業だから、子育ても兼業も今の形でできています。」



トータルで考えると都会で働いていた頃よりずっと良い。林業は未経験者が入るハードルが高いと思われがちですが、「緑の雇用」制度を利用して働きながら必要な資格を取ることができます。少しでも興味があったらまずは挑戦してほしいです。だんだん一本一本の木の違いがわかったり、思うように木を伐れるようになったりして、次はこれができたら、と思う。そのうちに、気づいたら長く続けられるようになっていきます」

ウッド・エコ産業(株)  
木塚 淳也さん  
きつか じゅんや



## CASE 2

### 育児休暇でゆとりのある 子育てとの両立を実現

高校は林業科に通い、祖父が本業の合間に山の仕事をやっていたこともあって、林業は身近だった奈良崎さん。19歳から林業を始めて12年経った今は、現場の責任者として後輩の指導や作業の指示出しを行っています。この日の作業は、間伐で伐り出した木材を搬出するための道づくり。単純、単調な作業に見えて、山の状態を見極めて、それに合わせたやり方で作業を行う林業の仕事は、人を育てるのにも長い時間がかかります。

「一人で判断しながら作業を進められるようになるまでだいたい5年ぐらい。口で教えるのにも限界があるからなるべく見て覚えてもらいます。後輩がどこまでできるかを確認しながら、細かく指示を出したり、教えたりします」

仕事で大切なのはチームワーク。作業を進めるときは、トップダウン的に指示を出すのではなく、班のメンバーの意見も聞きながら工程を考えていくそうです。休憩時にはみんなで集まって仕事以外のこともたくさん話するのが奈良崎さんのやり方。チームとしてお互いを知り、大切にするのは奈良崎さんが先輩から受け継いできたスタイルだそうです。

家庭では二児の父親でもあり、一昨年と今年にそれぞれ2ヶ月の育児休暇を取得しました。

「生まれてすぐの頃の子育ては大変だと聞いていたし、妻も働いているからちゃんと分担したかったんです」奈良崎さんが育児取得第一号になったことで、他の職員もこれまで以上に仕事と家庭の両立がしやすい環境に変わっていったそうです。また、子どもが生まれると特別休暇が支給されるため子どもを病院に連れて行きやすかったそう。復職後も毎日18時ごろに帰宅し、家事や子育てを奥さんと協力して行っています。夜は子どもたちと一緒に寝て、朝は早く起きて仕事に行く生活はとても健康的。子どもと遊ぶ時間はかけがえのない日々の楽しみだといいます。

奈良崎さんに仕事のやりがいを知りました。

「この仕事は一日終わるごとに目に見える形で作業が進んでいる達成感を味わえます。そして、数十年、数百年単位の森のサイクルのなかに仕事がある。いま作業している山を見ていると、ずいぶん前に間伐されたのがわかりますし、僕がこれまでに作業してきた山もいずれは誰かがその後を引き継いで作業していくはず。自分たちが伐り出した木が、家や家具に使われて、人の生活の役に立っているとやって良かったなと思います」

伊万里西松浦森林組合  
奈良崎 圭則さん  
ならざき けいすけ





# さが暮らし、森しごと。 林業から始まる 新しい生活スタンダード

## CASE 3

### 知識と山の情報を駆使して 林業を「お金になる」業界に

山下さんは、森林の施業計画や、それに伴う山主さん（森林の持ち主）や現場作業班への説明、利益の見積もりなどを一手に担う「森林施業プランナー」。パソコンを使う事務作業もありますが、山に入り、歩きながら現場を把握する時間の方がはるかに長いそう。計画に入っていない山の木を伐らないように境界を区切る測量、地形データの取得など緻密で責任の大きな作業を地道に進めています。

「プランナーは必ず山に入ります。道の入れ方や、この山は水が出やすいかなど山の状態を現場作業員から聞かれることもありますし、境界以外もくまなく見て回ります。指示を出すからには山の現状に誰よりも詳しくないといけません」

山下さんが森林組合に入った当初の林業は、伐った木をそのまま林内に置いてくる切り捨て間伐が主流。伐った木を運び出し、市場で売り、利益が上がるようになったのは入社後数年経った頃でした。はじめは何もかもが手探りで、ときには利益が出なかったことも。知識が必要だと痛感することがとても多かったといいます。プランナーの資格勉強や、他県の林業事業者との交流、そして自分の経験から効率的なやり方を覚えていき、今では1ヘクタール30～40万円ほどの利益を還元できるようになったそうです。小規模な森林を集約して施業を行うことが多いため、ときには1つの施業計画に当たり20人近い山主さんから了承を得ることもあります。山主さんとのコミュニケーションも山下さんの仕事のひとつ。「山主さんとは顔を合わせて話すことを大事にしています。書類だけのやり取りはほとんどしないですね。山やお金の話だけでなく、世間話もたくさんしますよ。なんならそっちの方が長いぐらい（笑）」

山下さんの目から見た今の佐賀の森林の課題は、山に対する山主さんの関心が全体的に低いこと。「山なんてお金にならない」というこれまでのイメージや、数十年単位の森林の経営サイクルの中で山主さんが変わった途端に山に対する興味が失われてしまうことも。経済的なメリットを示すことで、興味を持ち続けてもらえたら業界も変わっていくのではないかと話します。

「長年手が入ってなかった荒れた山がきれいになった時、森の中に日が射すようになるんです。本当、気持ちいいです。またがんばろうと思えます。山の見た目がきれいになって、山から収益を得ることができて、山主さんに『ありがとう』って言ってもらえて、嬉しいことが多いですね。業界としてまだ遅れている部分はありますが、だからこそ自分の頑張り次第で、色々とチャレンジさせてもらえますよ」

武雄杵島森林組合  
山下 和秀さん  
やました かずひで



## CASE 4

### 思い切って飛び込んだら 人生がとても豊かになった

さが林業アカデミーの一期生を経て、現場技能者として林業に就業した美山さん。きっかけは、農業への転職と移住を考えていた頃に、なんとなく行ったセミナーでした。

「元タキャンプが好きで、山道を通るときに山が崩れているのを見ると気になっていたんです。林業と災害の関係を知って、少しでも関われる仕事ならやってみたいな、と」

以前は、東京や福岡で事務の仕事をしていたから林業は全くの異業種。しかし、体力や業務への不安は全くなかったそうです。

「なんとかなると思っていたし、もしダメだったらその時考えればいいかって。アカデミーでは同期と出会えて、私と同じ転職組も多かったから、お互いにがんばろうという空気感がありました。STEP3の林業講習会で、チェーンソーで木を伐り倒す実技では動画を撮ってアドバイスし合ったりと心強かったですね。講習会の講師は簡単そうに、さっささって伐るんです。自分もと思ってやってみたら全然できない。そこからこれを仕事にするんだって実感がわいてきました」

修了後は、まつら森林組合の所属に。就職時にはアカデミーで取った資格が強みとなりました。

「就業マッチング相談会で、女性を現場や制度面でどのようにアシストするかを具体的かつ前向きに、そして本音を交えて話してくれたのがまつら森林組合でした。今は、組合が着替えとトイレのために購入してくれたキャンピングカーに道具を積んで現場に行っています」

移住した唐津市での生活も満喫中。生活にも大きな変化がありました。

「海から200mのところに住んでいるから、夏場は帰ってきたら海辺でビールを飲んでいました。前職の頃は残業が多く、一日のほとんどの時間を仕事が占めていたけれど、今は仕事が終わってもまだ外が明るい！なんて最高なんだ！って」

自身の年齢や性別をハンデととらえずに、軽やかに林業の世界に飛び込めた理由について美山さんはこう話し



ます。

「ずっとペーパードライバーだったけどアカデミーに入ったら山に行かないといけなから、車を買って20年ぶりに運転してみたんです。そうしたら、意外にもちゃんと運転できた。最近、休日にドライブを楽しんでいるし、すっかり生活の足ですよ。その感覚と似ているかもしれないですね。やはり覚悟とお金は必要です。でも、一歩踏み出したらそこから歯車が回り始めると思います。佐賀はアカデミーがあるし、移住の窓口もある。県の人も親身に話を聞いてくれる。いろんな人から助けの手をいっぱい差し伸べてもらっているなど実感しています」

まつら森林組合  
美山 愛さん  
みやま あい

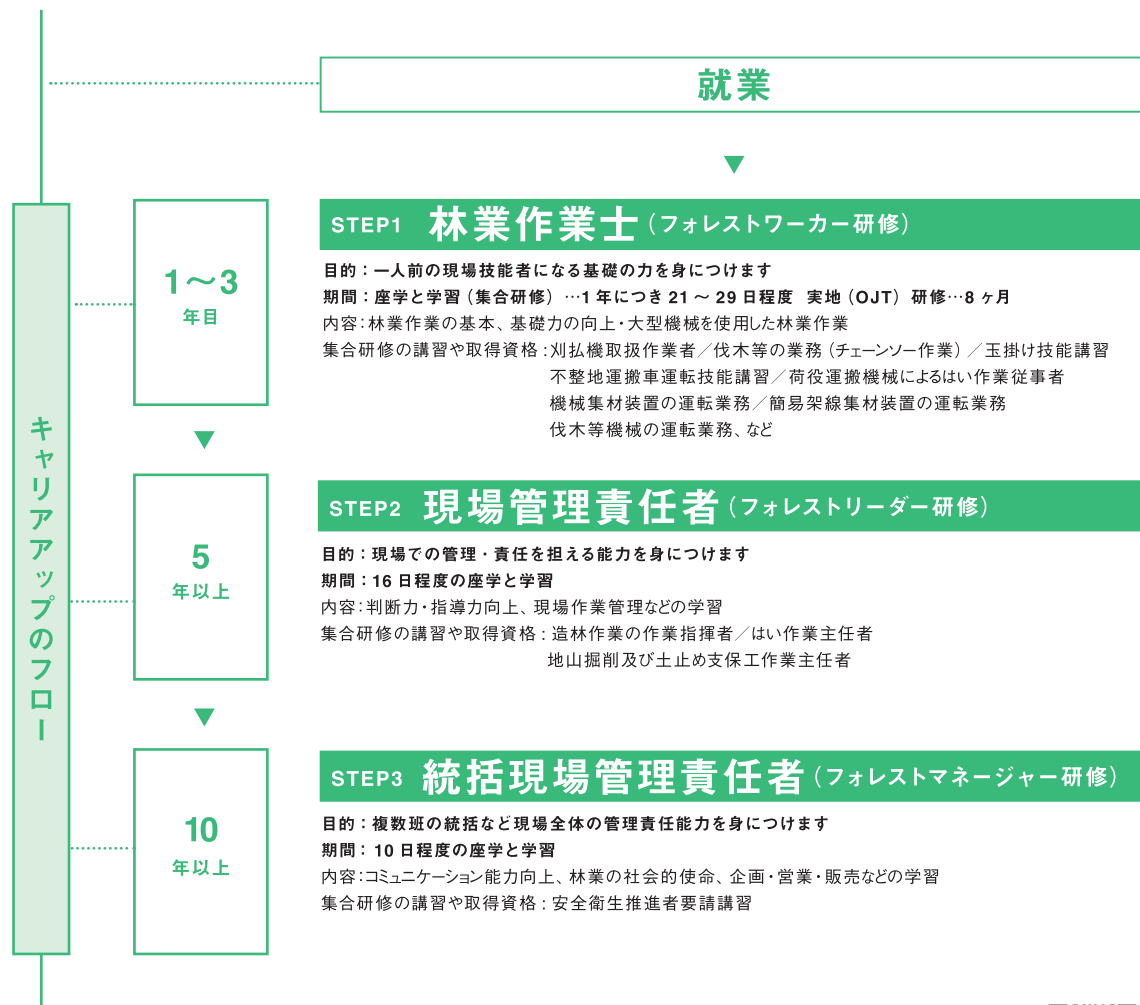




# 「緑の雇用」でキャリアアップ

一人前になるには数年かかると言われている林業。  
 未経験で林業に就いた方が、現場のスペシャリストとなるためのキャリアアップ支援として、  
 必要な技術を身につける講習や研修を行うのが「緑の雇用」です。  
 研修年次に応じて内容がステップアップする体系的な研修プログラムを用意しています。

受講対象者	森林組合や林業会社などの林業経営体に雇用されている方
	林業就業に対する意識が明確な方
	林業に必要な技能を身につける必要がある方（フォレストワーカーの場合、林業就業経験が2年未満）
	研修修了後、5年以上就業できる年齢である方（概ね60歳未満）
	林業に必要な健康状態の方



林業への就業に関するお問い合わせはこちら <https://sg-ringyou.jp/>



# 移住サポートのご案内

※移住サポート内容については変更となる可能性があります。  
 移住サポートの最新情報についてはサガスマイルHPをご覧ください。  
<https://www.sagasmile.com/>



## 移住前のポイント

- ①どんな生活をしたいのか考える。家族がいる方は家族みんなで
- ②エリアごとの魅力や制度を知る
- ③実際に佐賀を訪ねてみる

## 佐賀県エリア紹介



- 中部エリア**
  - JR 佐賀駅、九州佐賀国際空港があるため、周辺地域や東京方面へのアクセスが良好。ショッピングモールや公共施設が充実しています。
- 東部エリア**
  - 福岡や九州各地へのアクセスが良好。鳥栖市から博多へは新幹線で12分！溪流や森、アウトドアパークなどの自然が多く、都心部と田舎のいいとこ取りができます。
- 北西部エリア**
  - 虹の松原や玄界灘など豊かな自然に恵まれています。マリンスポーツや釣り、キャンプを楽しめます。全国的に有名なお祭り「唐津くんち」や海の幸も。
- 南部エリア**
  - 有明海に近く、漁業や農業など第一次産業がさかんな地域です。鹿島の祐徳稲荷神社や日本酒、武雄や嬉野の温泉など楽しめるスポットがたくさん。
- 西部エリア**
  - 有田焼や伊万里焼など日本屈指の磁器の生産地。伊万里牛や伊万里梨、有田焼など食も豊かです。釣り場としても人気があります。

## サポート内容の紹介

佐賀県では、移住を検討している方に向けてさまざまなサポートを行っています。 <https://www.sagasmile.com/support/>

### 移住支援金最大100万円

佐賀県への移住を検討している方に向けてさまざまなサポートを行っています。（単身者は60万円）

※移住先の市町によって制度の有無、開始時期、条件が異なりますので、詳細は必ず移住先市町にお問い合わせください。

### レンタカー助成

佐賀県に移住を検討する人が地域の情報収集や住居、仕事を探すにあたってレンタカー代金の一部を助成しています。1日1000円でレンタカーを借りることができます。ただし保険料、オプション料（チャイルドシート、ジュニアシートを除く）、燃料代は自己負担となります。

※利用日数は1年度内に9日間まで。  
 ※申請回数は1年度内に3回までとし、1回の申請につき3日間まで利用可。

### お試し住宅

実際に数日から1ヶ月程度生活することで移住後の暮らしをイメージできる施設です。費用は自治体によって異なります。（無料～1泊1,500円、家賃数万円程度）  
 ※詳細は運営先にお問い合わせください。

### 空き家バンク

移住交流希望者向けの物件情報を公開しています。  
 ※詳細は移住先市町にお問い合わせください。

## さが移住サポートデスクのご紹介

佐賀県へのUJIターン・移住を検討している方に寄り添い、移住のはじめの一歩からさが暮らしの実現までサポートします。地域の情報提供や先輩移住者との交流、求人情報の提供や就職までのアドバイスなど暮らしと仕事にまつわる相談に対応しています。なんとなく考えている方も、ある程度情報収集された方も、お気軽にご相談ください。

### さが移住サポートデスク

〒840-8570  
 佐賀県佐賀市内1丁目1-59  
 佐賀県庁 新館1階  
 ☎ 0952-25-7551  
 ✉ sagaiju@pref.saga.lg.jp

### さが移住サポートデスク（東京）

〒100-0006  
 東京都千代田区有楽町2丁目10-1  
 東京交通会館8階  
 ☎ 090-1657-8205 / 070-4851-1646  
 ✉ saga@furusatokaiki.net

ご自宅から移住相談ができるオンライン相談（平日のみ）も行っていきます。 ※完全予約制



さが移住サポートデスクは相談に対して、さまざまな制度の紹介や提案をしてくれてとても親切でした。おかげで全く知らない土地に家族と移住するの不安はありませんでした。佐賀県は海も山も近くて、車ですぐ近隣の市町に行けるので便利で生活しやすいですよ。





## SAGA 伐木チャンピオンシップ

林業就業者の伐木技術や安全意識の向上、県民の林業に対するイメージアップを目的とした競技会。丸太合わせ輪切り、伐倒、枝払いといった基礎技術の速さや正確さを競います。仕事終わりに自主練習を行う方や九州大会、世界大会を見据えている方もいて、毎回とても盛り上がっています！



## 森川海人プロジェクト

山は川を通して平野の暮らしを支え、海への恩恵をもたらす源流です。森川海のつながりや管理の重要性などについて「森川海はひとつ」として県民に広げ、県民一人ひとりの意識醸成や行動につなげ、森、川、有明海や玄海の豊かな自然環境を未来につなげるプロジェクトです。林業は、森を育て、次世代につなぐ重要な仕事なのです。